

広報

みのがも

5

平成元年

— 1 日号

No.407

人口の動き 4月1日現在 総人口41,747人 男20,563人 女21,184人 世帯11,604 発行/美濃加茂市 編集/秘書課 25-2111

特 報

5月から1日号はカラーとなります!!



五月の風に向って
走れ! カいっぱい

太田第一保育所で

今年で美濃加茂市は満35歳

量から質、物から心へと時代は変わりました



昭和二十九年四月一日、大きな期待と不安を抱いて美濃加茂市は誕生しました。新生・美濃加茂市となったその後の成長の記録は、わが国の戦後の歴史でもあじあした。三十五年の間に置からず、物から心の豊かさを求めて、美濃加茂は成長していったのです。今年で美濃加茂市制施行三十五周年を迎えます。明日の美濃加茂を築くためにも、美濃加茂の三十五年を振り返ってみましょう。

市制施行前の美濃加茂の姿はこうでした

30もの村だった美濃加茂

明治新政府が樹立され、藩制から県単位の地方行政制度が確立した明治四年、今の美濃加茂市の市域には太田町や上古井村など、大小さまざまな三十あまりの村が存在していました。

近代の地方自治制度の原型ともいえるべき市制・町村制が明治二十二年に施行されると、数多くの町村合併が全国規模で行われました。これによって美濃加茂地方でも、およそ三十の村が八つの町村に整理されています。

現在、美濃加茂市には太田地区・古井地区など八つの行政地区がありますが、これらはこの時に生まれた八町村なのです。

その後、古井村の町制施行、坂祝村・深田地区の太田町への分離合併などの変遷を経て、昭和二十九年の美濃加茂市の誕生の時を迎えるのです。

結びつきを強くする八町村

明治二十三年当時、現在の美濃加茂市の市域にはほぼ相当する八つの町村の人口の総計は、およそ一万四千三百人、このうち

もっとも人口規模の大きかった旧太田町には加茂郡役所をはじめ、太田警察署、太田郵便局など主要な官公署が集中的に建設されています。

明治の中ごろから、この地方にまで商品経済が浸透しはじめ物資の流通がさかになりまし。このため太田町を中心に各村へ通じる道路の建設に力が注がれたようです。さらに大正から昭和には、高山線や城美南線、太多線が建設されています。

このような輸送手段の発達によって八町村は強く結ばれていくのですが、合併の気運が高まるのは町村合併促進法が実施される昭和二十八年まで待たなければなりません。



昭和初期の太田町（写真美濃加茂市）

うごきだした合併への気運



昭和20年代の川合新道-のちの国道41号

戦後、地方自治が確立

戦後、すさまじいインフレの波が日本全土をおそい、物価は日増しに高騰して、国民は毎日の生活に困窮していました。

このような折、シャウブ博士を団長とするアメリカの使節団が来日し、いわゆる「シャウブ勧告」を行いました。これは日本の税制のあるべき姿を連合軍指令部に提出したもので、昭和二十五年に採用されています。

それより先の昭和二十二年、民主主義を根底においた日本国憲法の地方自治に関する規定を受け、地方自治体の自立・自主性をはかる地方自治法が施行されると、国民の声をもっとも反

映しやすしい市町村の事務分担が強化されました。

ところが、ただでさえ財政事情が厳しい市町村ですから、合併によって市町村規模を大きくし、地方自治の推進に耐えられるようにと、町村合併が奨励されたのです。

昭和28年制定の合併促進法

ところが自治体の意思にまかせていた合併の奨励は、大きな成果をあげることができなかったため、多くの助成策を講じた町村合併促進法が昭和二十八年に制定されました。助成策には一、市としての人口条件を五万人から三万人とする。

二、五年間は平衡交付金を減らさない。

三、学校、道路、消防などの整備に必要な起債や補助金を優先的に認める。

四、国有財産や林野の払い下げなども便宜をはかる。

町村合併促進法は三年間のみの特設立法でしたが、国や県の強力な合併推進の結果、全国でおよそ六千の町村が減少し、さ

らに町村の規模は合併前のおよそ三倍にまで拡大するという大きな効果をうみだしました。

この地方でも、関係町村の何

昭和29年、美濃加茂市は誕生しました

市実現に向け一致団結

こうして、昭和二十九年四月一日、太田町と古井町を中心にして、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村、三和村（鹿塩地区を除く）、下米田村、和知村牧野地区が合併して、美濃加茂市が誕生しました。

新市建設基本方針の実行

このような経緯のなかで誕生した美濃加茂市の人口は三万八百七十九人（昭和二十九年四月）でしたが、これは市となることのできる人口最低限三万人をわずかに上回るにすぎない数値でした。しかし、第一次総合計画ともいえるべき新市建設基本方針が誕生と同時にうたてられ、多くの成果を得ています。



美濃加茂市の誕生を祝う当時の風景

教育施設の充実や農業経営の改善を中心としたこれらの施策は、昭和二十九年には小学校一校、保育所二カ所、翌三十年には小学校二校、中学校一校、三十一一年に保育所一カ所、新農村建設地域の指定などと、着実に実行されていくのです。

年表・美濃加茂35年

昭和29年

4月・美濃加茂市が誕生

・市長に渡辺栄一、無投票当選

6月・古井第一保育所が完成

8月・日本ラインが県立公園に指定

10月・加茂野小学校が完成

11月・加茂野保育所が完成

昭和30年

3月・第一回市議会議員選挙

4月・蜂屋保育所が完成

5月・三和小学校が完成

7月・北中学校が完成

9月・山之上小学校が完成

昭和31年

1月・伊深保育所が完成

8月・新農村建設地域に指定

10月・市消防団、再編成

昭和32年

5月・三和保育所が完成

7月・皇太子殿下、ライン下りに行啓

8月・新農村建設地域に指定

昭和33年

4月・山之上保育所が完成

9月・上水道の給水を開始

昭和34年

4月・名古屋・富山間、一級国道に

9月・伊勢湾台風で死者6人

昭和35年

2月・津田左右吉氏、名誉市民に推挙

昭和36年

5月・市役所の新庁舎が完成

人口は1.3倍、世帯は1.9倍になりました

35年の歳月は、美濃加茂の姿を大きく変えた

統計数値で見た美濃加茂35年史

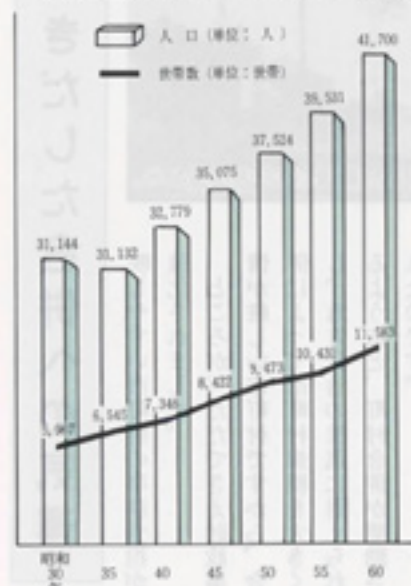
やや全国平均を上回る人口増加率

国では大正九年から、人口やこれに関したいろいろの情報を調査する国勢調査を五年ごとに実施しています。

これによると美濃加茂市の人口の動きは、国勢調査によれば昭和三十年から六十年のあいだにおよそ一・三倍、世帯では一・九倍になっています。

昭和三十五年に、前回の調査人口よりわずかに減少した。時代とともに核家族化がすすんだのが原因です。

国勢調査による人口と世帯数の推移



一方、農家数は80%、耕地面積は65%となっていました

90%をこえた兼業農家率

農林水産省が行っている農林業センサスは、いわゆる農林業の国勢調査ともいうべきもので、これも五年ごとに調査がなされています。

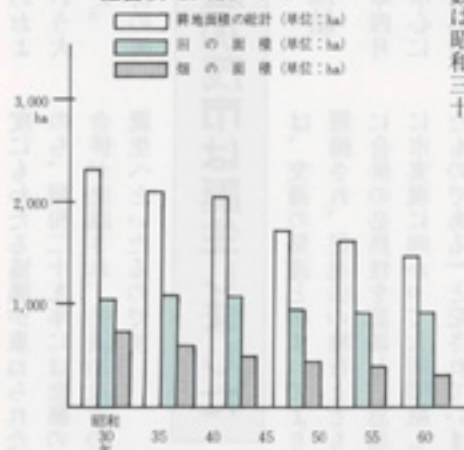
農林業センサスは、美濃加茂の農業や林業の状況を詳細に教えてくれます。

市内の農家の数は昭和三十年以降減少し

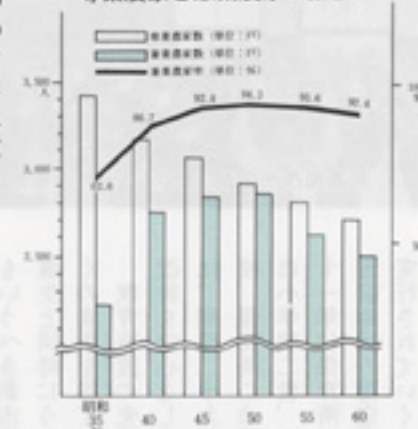
続け、昭和六十年には三十年の七九・一%に落ち込んでいます。

一方、兼業農家の数は昭和五十年をピークに増加したものの、そ

経営耕地面積の推移



専業農家と兼業農家の推移



れ以降は減少に転じています。また総農家数に対する兼業農家の比率も昭和五十年をピークに激増していましたが、近年はほぼ横ばいとなり、九〇%

台を保っています。

経営耕地の面積の推移をみると、昭和六十年には昭和三十五年の面積のおよそ六五%となっています。これは田の二十五五年間の平均減少率が三・六%であるのに対し、畑が一三・三%と大きいことから、田以外の耕地が転用されていったと予測されます。

昭和37年

1月・宝仙坊トンネルが貫通

2月・県立加茂農林高等学校が開校

4月・し尿処理場が完成

9月・東中学校が完成

昭和38年

6月・市老人クラブが発足

9月・古井小学校が移転

12月・岸東八郎、市長に当選

昭和39年

3月・飛騨木曾川国定公園に指定

・市農業協同組合が発足

11月・市制施行10周年記念式典

12月・下米田小学校が完成

昭和40年

5月・交通安全都市宣言

8月・市内有線放送を開始

10月・岐阜国体レスリング、当市で

昭和41年

3月・ジーゼル基地が完成

4月・県養蚕試験場が完成

5月・青少年愛護法施行防止都市宣言

昭和42年

7月・新池団地が完成

9月・西中学校が完成

11月・中濃大橋、着工

昭和43年

3月・宝仙坊トンネル改良工事完成

・市道若宮・深田線が開通

5月・美濃加茂市農協会館が完成

7月・古井新住居表示へ切り替え

8月・集中豪雨、死者七人

順調な伸びを示す当市の商品販売額

商業統計の結果から、県下十四市の年間商品販売額による順位が、昭和三十一年と昭和六十年とでどのように変化していたかをみてみます。

右の表によれば、年間商品販売額の一位から四位までの順位は不動ですが、五位以下には大きな変化がみられます。とくに注目したいのは、昭和三十一年に最下位であった美濃加茂市が、昭和六十年には九位にランクされたことです。

美濃加茂市の業種別の商店数の推移での特徴は、依然として小売業の商店数が大半を占めているものの、増加率では卸売業や飲食店の二分の一にとどまっていることです。

商業統計による年間商品販売額ランキング (単位: 万円)

ラ	昭和31年	昭和60年
ン	市	市
1	岐阜市	岐阜市
2	大垣市	大垣市
3	多治見市	多治見市
4	高山市	高山市
5	土岐市	各務原市
6	中津川市	土岐市
7	恵那市	関市
8	瑞浪市	中津川市
9	羽島市	美濃加茂市
10	関市	可児市
11	美濃市	羽島市
12	美濃加茂市	瑞浪市
13	—	恵那市
14	—	美濃市

(注) 昭和31年は平調査のみの数値

飛躍をつづける美濃加茂市の工業

毎年実施される工業統計調査を昭和三十年から三年ごとに抽出して、昭和六十年までの事業所数と従業者数の推移を調べてみました。

事業所数については、当初五十九しかなかったものが昭和六十年には三百九と、およそ五・二倍になっています。

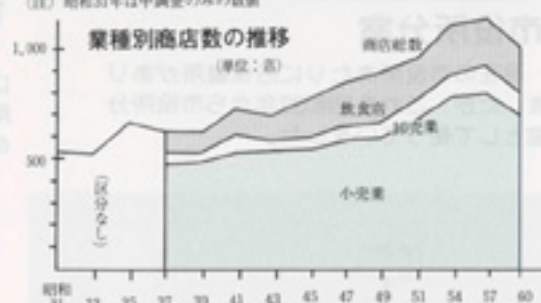
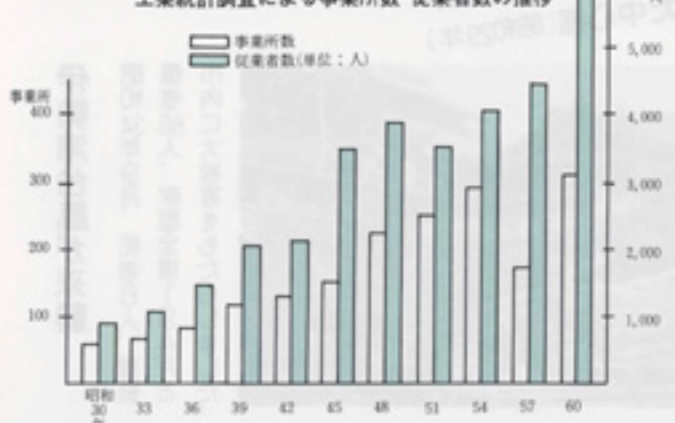
三十年間で、とくに事業所数の増加率の高かったのは、昭和三十三年から昭和三十九年と、昭和四十五年から昭和四十八年のあいだで、三〇%—四六%という驚異的な数値を示しています。

なお、昭和五十七年に事業所数が減少しているのは、この年の工業統計調査の対象に、従業者の三人以下の事業所が含まれなかったためです。

従業者数は、この三十年間に事業所数の五・二倍の増加を上回る六・五倍にも達しています。これは一つの大企業が進出することによって、従業者数が飛躍的に増加することが原因となっています。

ちなみに、昭和三十年の製造品出荷額は県下十二市で最下位でしたが、昭和六十一年には五位となっています。

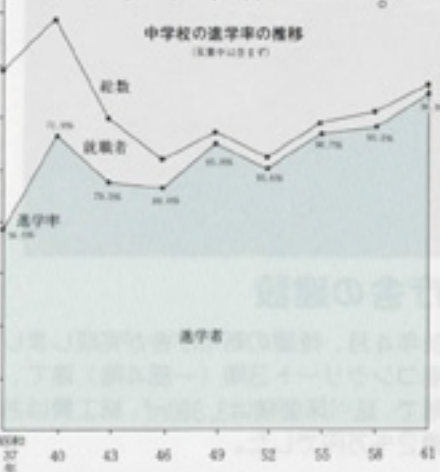
工業統計調査による事業所数・従業者数の推移



(注) 昭和54年、60年には代理店と仲立業は含まれない

高校進学率90%は昭和47年からです

昭和三十年の高等学校への進学率はおよそ四四%でした。グラフでもっとも古い昭和三十七年でも、進学率は五六%と、七年間に八%ほどの上昇にすぎません。その後、進学率は急激に高まり、昭和四十七年には九二・一%と九〇%の大会に乗りましたが、これは最近の数値とほとんどかわりません。



昭和44年

1月・日立製作所と工場誘致の調印

2月・組合立双葉中学校が発足

4月・中濃大橋が完成

9月・市消防団、総理大臣賞を受賞

11月・市産業文化会館が完成

昭和45年

4月・可及消防事務組合が発足

・伊深保育所が完成

昭和46年

3月・八二七災害復旧工事が完成

5月・新青柳橋が完成

・学校給食センターが操業開始

7月・暴力追放都市を宣言

8月・結婚相談制度を設置

9月・「すぐやる係」を設置

12月・太田臨本陣、国重要文化財に

昭和47年

7月・中濃体育館が完成

昭和48年

3月・森山団地、分譲を開始

4月・私立美濃加茂高校が開校

12月・千代田アルミ、県鉄構協同組合の二社と工場誘致の調印

昭和49年

4月・古井近隣公園が完成

・上古井公民館が完成

11月・市制20周年で市の木、花、色を制定

昭和50年

・太田第二保育所が完成

昭和51年

4月・山手小学校が開校

・加茂休日診療所組合を設置

写真でつづる 美濃加茂市の歩み



市役所分室

現在の市役所あたりに旧保健所がありましたが、これを昭和32年から市役所分室として使っていました。



合併した当時の市役所

旧太田町役場は現在の御代桜醸造付近にありましたが、当初これを市役所に利用していました。この庁舎は、昭和36年の新庁舎の完成まで使用されています。



新市庁舎の建設

昭和36年4月、待望の新市庁舎が完成しました。鉄筋コンクリート3階（一部4階）建て、地下1階で、延べ床面積は3,360㎡、総工費はおよそ1億2千万円でした。



空から見た中心部(昭和29年)



伊勢湾台風が来襲

昭和34年9月、死者6人、重軽傷者66人、家屋全壊194戸と市内に大被害をもたらしました。

- | | |
|---|---|
| <p>昭和51年</p> <p>9月・川合大橋が完成</p> <p>12月・県営山之上浄水場が完成</p> <p>昭和52年</p> <p>3月・古井第一保育所が完成</p> <p>9月・高橋三郎、市長に当選</p> <p>・岸東八郎前市長を名誉市民に推挙</p> <p>昭和53年</p> <p>4月・市民憲章を制定</p> <p>11月・第一回市産業祭を開催</p> <p>昭和54年</p> <p>3月・市役所西館が完成</p> <p>4月・可茂公設卸売市場が完成</p> <p>5月・市立図書館が完成</p> <p>昭和55年</p> <p>3月・工場誘致条例が復活</p> <p>4月・木曾川右岸用水が暫定通水</p> <p>6月・可茂消防本部庁舎が完成</p> <p>11月・文化会館が完成</p> <p>・山崎鉄工、ソニーが工場誘致の調印</p> <p>昭和56年</p> <p>4月・美濃太田駅前商店街近代化事業に着手</p> <p>5月・都市街路塚波陸橋が開通</p> <p>6月・第二次市総合計画の基本計画を策定</p> <p>昭和57年</p> <p>3月・蜂屋保育所が完成</p> <p>・前早公園の第一期工事が完成</p> <p>11月・県立美濃加茂高等技能専門学校が完成</p> | <p>昭和58年</p> <p>3月・市役所東館が完成</p> <p>4月・可茂公設卸売市場が完成</p> <p>5月・市立図書館が完成</p> <p>昭和59年</p> <p>3月・工場誘致条例が復活</p> <p>4月・木曾川右岸用水が暫定通水</p> <p>6月・可茂消防本部庁舎が完成</p> <p>11月・文化会館が完成</p> <p>・山崎鉄工、ソニーが工場誘致の調印</p> <p>昭和60年</p> <p>4月・美濃太田駅前商店街近代化事業に着手</p> <p>5月・都市街路塚波陸橋が開通</p> <p>6月・第二次市総合計画の基本計画を策定</p> <p>昭和61年</p> <p>3月・蜂屋保育所が完成</p> <p>・前早公園の第一期工事が完成</p> <p>11月・県立美濃加茂高等技能専門学校が完成</p> |
|---|---|



宝仙坊トンネルが貫通

昭和37年1月に貫通した宝仙坊トンネルは、蜂屋町と伊深町を結ぶ重要なルートでしたが、大型車両の通行ができませんでした。その後改修工事に着手、昭和43年4月に完成しています。



飛騨木曾川国定公園に指定

昭和29年8月に県立公園に指定されていた日本ラインは、昭和39年3月に全国で初めての河川美公園として、飛騨木曾川国定公園に指定されました。



中濃体育館の建設

昭和47年7月、面積5,410㎡の体育館のほか、テニスコートや弓道場を備えた中濃体育館が完成。スポーツ活動の拠点として大いに利用されています。



シティホテル美濃加茂が完成

昭和63年8月、駅前再開発の一環として建設されていた「シティホテル美濃加茂」が完成しました。鉄筋コンクリート8階建て、地下1階のホテルは、市の発展のシンボルとして、その威容を誇っています。



9.28災害は市はじまって以来の大災害に

昭和58年9月28日、台風に刺激された秋雨前線が活発化して集中豪雨をもたらし、木曾川の氾濫をまねきました。このため太田地区を中心に被害が広がり、市はじまって以来の大災害となりました。

- | | |
|--|----------------------|
| <p>昭和58年</p> <p>3月・中央公民館・保健センターが完成</p> <p>5月・上水無瀬公共林道が全面開通</p> <p>7月・市民プールが完成</p> <p>9月・九・二八災害が発生、多大な被害をこうむる</p> <p>11月・新太田橋が完成</p> <p>昭和59年</p> <p>11月・市制三十周年記念式典を開催</p> <p>12月・富士通が工場誘致の調印</p> <p>昭和60年</p> <p>12月・前平テニスコートが完成</p> <p>6月・防災行政無線同報系が開局</p> <p>9月・蜂屋工場団地が完成</p> <p>9月・渡辺博万市長が当選</p> <p>昭和61年</p> <p>12月・長良川鉄道越美南線が営業を開始</p> <p>昭和62年</p> <p>3月・美濃太田駅前駐輪場が完成</p> <p>9月・市立図書館移転工事が完成</p> <p>9月・災害シンポジウムを開催</p> <p>10月・さふECウィークを開催</p> <p>11月・太田公民館改築工事が完成</p> <p>昭和63年</p> <p>3月・カナリアの家が完成</p> <p>4月・特別養護老人ホームが完成</p> <p>7月・市道山手線が全面開通</p> <p>8月・シティホテル美濃加茂が完成</p> <p>12月・国際都市交流調査団がオーストラリアを訪問</p> | <p>未来博、美濃加茂市の日実施</p> |
|--|----------------------|

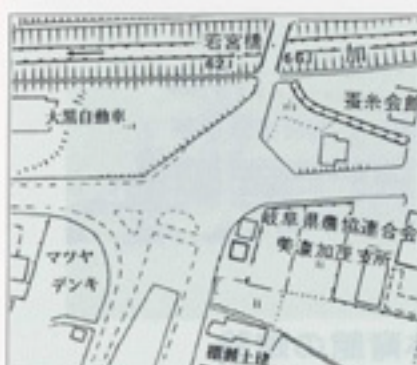
これが市内の交通事故多発場所



昭和63年の市内の事故発生件数は1,409件にもものぼり、前年比14.6%の増となっています。

また、うっかり事故が相変わらず多く、ちょっとした注意で未然に防げたものばかりです。

ここで、市内でも交通事故発生率の高い場所ワースト3になぜ事故が多発するのかを考えてみましょう。



ワースト3 若宮交差点

場所 市内加茂川町1丁目1番1号
件数 9件 (人身3件、物損6件)
原因 交差点の右・左折で、信号機が赤になっても無理に進もうとするため



ワースト2 中部電力前付近

場所 市内中富町1丁目10番16号
件数 11件 (人身2件、物損9件)
原因 道路ぎわの商店に気をとられてのわき見運転が原因



ワースト1 中富交差点

場所 市内古井町下古井528
件数 18件 (人身3件、物損15件)
原因 西進する場合、交差点手前のカーブに気をとられ信号機を見落とす

交差点の事故が全体の過半数を占めます

交差点での交通事故は、全体の過半数を占めています。これらはいくつかのパターンに分けられますが、このうちとくに発生率の高いケースを紹介いたします。

左折する場合はバイクの巻き込みに注意

交差点で左折する場合、直進するオートバイに気づかず巻き込むことがあります。またバックミラーで気づいていても実際よりも小さく見えるため、見込みで左折して事故となることもあります。



右折する場合、対向車にかくれたバイクに注意

渋滞している交差点を右折しようとする場合、対向車にかくれたオートバイの発見が遅れて事故となるケースが多く見られます。あせらないでしっかり安全を確認してから右折しましょう。



右折する場合は横断中の人にも注意

対向車の多い交差点を右折する場合、対向車ばかりに気をとられ、横断中の人や自転車の存在を忘れてしまつて事故になることがあります。とくに、速度の速い自転車には注意する必要があります。





交通安全教室を 西町地区で実施

ダミーの追突実験に
「こわいねえ」

交通事故の撲滅が国民全体の悲願となっていますが、加茂地区交通安全協会太田支部（青山曙夫支部長、会員五十人）では、西町地区の住民を対象とした交通安全教室を初めて開設、交通安全のモデル地区に向けて多くの市民が交通モラルを熱心に学びました。

西町地区は国道248号や市道山手線をはじめ、長良川鉄道越美南線など往來の激しい道路や鉄道が縦横に交差するうえ、西町在住の児童が太田小学校に通学するためには、交通量の多い国道41号をさら

桜の下で咲いた 心の交流

体の不自由な
若者を花見に招待

春といえば桜を連想される方も多いと思いますが、このほど市内のお年寄りが体の不自由な若者たちに花見を楽しむでもらおうと観桜会に招待、桜の木の下で暖かい交流風景が展開されました。

招待したのは太田町東区栄寿会（林時三会長、百十人）で、自治会からの補助金を有

に横断しなければならぬ状況におかれています。

このため、常に危険にさらされている小学生や、交通事故の犠牲者の多くを占めるお年寄りにも参加を呼びかけ、子どもやお年寄りを意識した交通安全教室となりました。

西総合運動場のソフトボール場いっぱいには作られたコーンに信号機や踏切を設定し、安全な歩き方や走行方法を指導したのち、ダミーに自動車を追突させた模擬事故を再現させると、全員から「こわいねえ」との声が聞かれました。

効な行事に使用しようと協議した結果、体の不自由な若者たちを招待しての観桜会を開催することになったのです。

会場となった古井町の井戸畑公園でお年寄りたちの出迎えを受けた太陽の家（坂井久三所長）の若者たち九人は、さっそく桜の下に敷かれたゴザに招かれ、初めての花見をお年寄りたちとともに心行くまで楽しみました。



あなたの善意

このほど、つぎのかたがたから市へ寄附がありました。

- 岐阜県菊花連盟美濃加茂市実行委員会 二万五千元
- 美濃加茂市消防団第一分団（太田） 三万六千二百七十円

ふるさと

歴史探訪

「清水と水神」

深田町一丁目、完成したばかりの木曾川護岸堤防の階段を下り川岸に近づくと、コンクリートの囲いの中にこんこんと水が湧きだしています。

かつて、河岸段丘下の木曾川河畔には、このような清水がいくつも湧きだし、人々は洗濯物や畑で採れた野菜を抱えて集まってきました。そこは地区の人々の日常的な情報交換や交流の場としての役割も果たしていました。

護岸堤防の整備によって清水は次々と姿を消していきましたが、生活用水の守り神としてまつられた「水神」は、今もその場所にひっそりと残っています。

① 深田清水

（深田町一五）

② 下町清水

（中濃大橋北詰め）

③ 中町下清水

（富士「南」）

④ 中町清水

（太田公民館西）

⑤ 上町清水

（太田公民館東）

⑥ 港町清水

（太田本町一七）

⑦ 元町清水

（太田本町一五）

⑧ 神明堂清水

（古井町下古井）

⑨ オイド清水

（御門町一六）

以上が水神の祀られていた清水ですが、現在も使われているのは①だけとなっています。

日本では古くから水のもつ威力や霊力に対する信仰があり、水神は本来、農耕社会において豊かな実りをもたらす守護神として祀られていました。このような目的でたてられたものが市内の溜池の脇などに五基（山之上町西洞・三岩溜池・下米田町山本・山本北池など）確認されています。



かつての港町清水



太田町弥生
渡辺啓右ちゃん(1歳)

お父さんっ子で、毎日お風呂はお父さんと一緒。そのくせ気が強くて、いつのまにかどこかへ行ってしまう。豆腐とイチゴが大好きな気まぐれ屋さんです。

近所ののら猫と大の仲良しで、いつもコンビでドロンコ遊びに夢中になっています。

(お母さんの美和子さんの談)

ポーズですよ

いつも健康です



鎌倉町下西
堀部米夫さん(68歳)

市民マラソンに 十五回連続出場

市民マラソンに毎年出場することがわたしの楽しみなんです。もうかれこれ十五年になりますかねえ。でもね、二キロ目を八分三十秒で走っていたのが、今年は十一分もかかってしまいました。もう、何位で走るかよりも、健康のため体を動かす程度と割り切っています。無理してまで走

ろうとは思いませんねえ。八年前まで教員をやっておりましたね、そのころから走るのは好きでした。放課後グラウンドを走っていると、いつのまにか子ども達が私の後について走ってくれてました。今やその教え子たちが、市民マラソンでわたしと一緒に走っているんですよ。

いまはおしの語り草

昭和39年10月、みのかも市報第67号

市制10周年を記念して



1日に市民運動会 こぞっての参加を

市制10周年を記念して、記念式典並びに市民運動会を開催することになりました。11月1日(日)午前9時30分から午後3時まで、旧古井小学校跡で、盛大に開催します。市民の皆様のごぞっての参加をお願いします。

記念式典

記念式典は、運動会に先だつて、午前9時30分から、11時まで、旧古井小学校跡(雨天の時は中央公民館)で過去10年の健全な伸張を祝うとともに、将来の発展を祈願して行ないます。

式典には、地方自治功労者として、自治振興関係18人を始め、納税、社会事業、教育学芸文化、産業振興、道路保護、消防関係など30人の表彰と12人に感謝状が贈られます。

おれら仲間たち

日本ボーイスカウト美濃加茂第1団



日本ボーイスカウト美濃加茂第一団は昭和三十七年に組織された団体で、市内の三つのボーイスカウトのうちではもっとも古い歴史と伝統を誇っています。太田・下古井地区を中心に、川辺や坂をエリアとするこの第一団は、小学校二・四年生までのカブ隊に二十人、五年生・中学三年生のボーイ隊に三十二人、高校生のシニア隊の十人で編成されています。

ボーイスカウトという何となく特殊な団体と思われる

方もあるようですが、いろいろな年齢層の子ども達が、集団生活を通じて年代の違いを乗り越え、強いきずなで結ばれているという点では、ほかのスポーツ団体とは何ら変わりがないと思います。

夏には三泊四日の遠征キャンプ、冬にはスキー合宿やスケートと、楽しみながら活動を続けているうち、どの子もチームワークやリーダーシップを身につけるのです。

入団希望者は、団委員長の高野(☎26-3202)まで。

「お父さん」 木田第二保育所
石田功一 郎ちゃん



「お父さん」 加茂野4年
堀江岳克くん



市民サロン

へびみこしがニヨロ!

春まつりに大活躍!!

太田地区の春まつりが行われた四月一日と二日の両日、威勢のいい掛け声とともに今年のをとをあしらった「へびみこし」が夕闇をけて町内を練り歩き、子ども会の子どもみこしとともに春まつりを大いに盛り上げました。

「へびみこし」をかついだのは美濃加茂市消防団第一分団(岩田一義分団長、団員三十二人)で、岩田分団長のモットーである「美濃加茂市民に愛される消防団」づくりの



一環として行われたものです。午後六時ごろからおよそ三時間、重さ三十キロのみこしを二晩連続でかつぎとおしたといい、この強行軍にさすがの消防団もヘトヘトでした。



「車輪の下」 ヘルマン・ヘッセ

伊藤叶恵さん(本郷町)



わが心の本だな

わたしの子どもが中学生のときに、その校長先生からすすめられて読んだのが「車輪の下」との出会いでした。

「車輪の下」は、ハンスというとても優秀な少年が、親や先生などまわりの人たちの期待を一身に受けて高名な進学校に合格するのですけれど、だんだん反抗的な態度をとるようになり、やがて退学して機械工になるんですね。そして最後には人生への絶望という心の傷を負ったまま死んでしまうというお話です。

この本を読んだときが、わたしの子どもが進学するときでしたから、ショックでしたね。ただ一人、ハンスの成長に暖かいまなざしを送っていたくつ屋の親方が、ハンスの墓を埋葬するときに言った「あの子のためにいろいろ手ぬかりをしてきたんじや」という言葉がとりわけ印象にあります。この本から、わたしは多くの反省といくつかの教訓を得たような気がします。お子さんをお持ちの御母さんたちにぜひおすすめしたいですね。

姉妹都市の素顔 ① — あらまし編

ダボ市からのエア・メール

今年の六月

オーストラリア

アのダボ市との間で姉妹都市提携が結ばれます。本格的な国際交流の幕あけによって、美濃加茂も海外と直接接点できるようになるわけ



で、記念すべき年といえます。オーストラリアは面積七百六十八平方キロ、世界でも第六位にランクされる広大な国です。これは日本のおよそ二十倍にも達しますが、一つ

の大陸が一つの国家を形成する例はほかにはみられません。この国最大の都市はオペラハウスでおなじみのシドニーです。このシドニーから西北へおよそ四百キロに位置するのがダボ市です。内陸都市

ダボ市は空港のほか、ハイウェイや鉄道の交差する交通の要衝で、この地方の文化・政治・経済の中心都市となっています。人口は美濃加茂市よりやや少ない三万二千五百人ですが、面積はなんと三千三百二十平方キロもあります。この数値は鳥取県の面積とほぼ同じ、美濃加茂市のおよそ四十倍にもなるといえますから、さすがにオーストラリアらしいスケールの大きい話ですね。オーストラリアは羊の国としても知られていますが、ダボ市もこの広大な市場を利用して羊や牛などの放牧を行っています。このほか農業機械や航空機などの先端工業も盛んになってきました。

はるか南半球にあるダボ市ですが、その距離をものともしない強いつながりを期待したいものです。

相続税・贈与税が

つぎのように
変わりました

昨年の税制改革により相続税と贈与税が改正され、相続税は基礎控除などの引き上げと税率構造の改正で、また贈与税も税率構造の改正でいずれも減税となりました。

内 容	改 正 前	改 正 後
相続税の課税最低限	2,000万円+400万円×法定相続人の数	4,000万円+800万円×法定相続人の数
配偶者の相続税課税最低限	遺産の1/2相当額か4,000万円の多い方	配偶者の法定相続分が4,000万円の多い方
死亡保険金の非課税限度額	250万円×法定相続人の数	500万円×法定相続人の数
死亡退職金の非課税限度額	200万円×法定相続人の数	500万円×法定相続人の数

税率 贈与税の税率

%	改 正 前	改 正 後
10	50万円以下の金額	100万円以下の金額
15	70万円 *	120万円 *
20	100万円 *	150万円 *
25	140万円 *	200万円 *
30	200万円 *	300万円 *
35	280万円 *	400万円 *
40	400万円 *	600万円 *
45	550万円 *	800万円 *
50	800万円 *	1,200万円 *
55	1,300万円 *	2,000万円 *
60	2,000万円 *	3,000万円 *
65	3,500万円 *	7,000万円 *
70	7,000万円 *	7,000万円を超える金額
75	7,000万円を超える金額	

税率 相続税の税率

%	改 正 前	改 正 後
10	200万円以下の金額	400万円以下の金額
15	500万円 *	800万円 *
20	900万円 *	1,400万円 *
25	1,500万円 *	2,300万円 *
30	2,300万円 *	3,500万円 *
35	3,300万円 *	5,000万円 *
40	4,800万円 *	7,000万円 *
45	7,000万円 *	1億円 *
50	1億円 *	1億5,000万円 *
55	1億4,000万円 *	2億円 *
60	1億8,000万円 *	2億5,000万円 *
65	2億5,000万円 *	5億円 *
70	5億円 *	5億円を超える金額
75	5億円を超える金額	

詳しくは聞税務署 (☎0575-22-2233) へ

何でも相談室

行政相談

- と き 第4金曜日、午前9時～11時
- と ころ 上古井公民館
- 相談員 古沢義正 (☎25-3085)

国税の税務相談

- と き 毎月10日(土曜日・日曜日・祝日の場合は次の平日)、午前10時～午後3時
- と ころ 市役所西館第5会議室

美濃加茂高齢者職業相談

- と き 毎週月曜日・水曜日・金曜日
午前9時～午後3時
- と ころ 市役所西館相談室(内318)

就業援助センター

- と き 毎週月曜日・木曜日、午前10時～午後3時
- と ころ 市役所西館相談室(内318)

心配ごと相談

- と き 毎週水曜日、午後1時～4時
- と ころ 中央公民館和室(☎25-4141)

結婚相談

- と き 毎週土曜日、午前9時～正午
- と ころ 中央公民館和室(☎25-4141)

愛のテレフォン

- と き 木曜日・日曜日・祝日を除く
毎日、平日＝午前8時30分～午後4時、土曜日＝午前8時30分～正午
- と ころ 家庭児童相談室(☎25-1110)

教育相談

- と き 毎週月曜日・火曜日・木曜日
金曜日、午前9時～午後4時
- と ころ 市役所西館相談室
- 内 容 教育に関する電話相談・面接相談・訪問相談など

法務局出張法律相談

- と き 毎月第3水曜日(休日の場合は中止)、午後1時～4時
- と ころ 中央公民館3階和室

エアロビクスと健康体操サークルでは会員を募集しています。希望者は中濃体育館 (☎26-3241) か、各代表者までご連絡下さい。

エアロビクス・健康体操のサークル会員を募集します

サークル名	曜日	時 間	会 費 (1ヵ月)	代 表 者
エアロビレディーズ	月	10:00～12:00	2,000円	山口町子 26-8815
エアロビューティーズ	月	19:00～21:00	2,000円	林 恵子 26-7693
木曜エアロビクス	木	19:00～21:00	1,500円	久保井洋江 29-1573
ヘルシー体操	金	10:00～12:00	1,000円	上田勢津 25-8293
コスモス	月	10:00～12:00	2,000円	宮田多美子 26-1732

5月の広報キャンペーン



五月三日は「憲法記念日」です。民主主義を基調とする日本国憲法は、法の支配の原則を採用しています。民主主義は個人の尊厳の確保、個人の自由と平等の保障などを目標としているといわれ、日本国憲法も基本的人権を広く保障しておりますが、重要なのは国民が法を守るという姿勢ではないでしょうか。

憲法週間

五月一日～七日

第6回市長杯ゴルフ大会を開催

年々盛大となりました美濃加茂市後援の市長杯ゴルフ春期大会を開催いたします。多数ご参加下さい。

- とき 6月9日(金)、午前8時から
- ところ 正眼寺カントリークラブ
- 参加資格 市内在住または在勤の方
- 募集人員 160人
- 参加費用 15,000円
- 競技方法 18ホールズストロークプレーWペリア方式
- 申し込み 正眼寺カントリークラブ事務局 (☎29-1888) へ

弁護士が法律相談を開設

弁護士が法律に関する相談に無料で応じますので、お気軽におこし下さい。当日は混み合いますのでお早めめに。

- とき 5月24日(木)、午後1時から4時(受付は午後3時30分まで)
- ところ 中央公民館3階和室
- 担当 梨本弁護士
- 問い合わせ 市社会福祉協議会(内314)

青年海外協力隊員の募集

現地の人々と生活し、現地の国づくりに協力する青年海外協力隊員を広く募集します。

- 資格 原則として、満20歳から満35歳までの日本国籍を有する青年男女
- 派遣国 本人の希望を尊重
- 派遣期間 原則として2年間
- 説明会 5月18日(木)の午後6時30分から8時30分、市中央公民館で
- 問い合わせ 県総務部青少年婦人課(☎0582-72-0810) または市社会教育課(☎25-4141) へ

家庭手芸サークル会員募集

中央公民館の家庭手芸サークルで、袋物や刺し子、編み物などの家庭手芸を楽しみながら学びませんか?

- とき 毎月第1・第3月曜日、午前9時30分から11時30分まで
- ところ 市中央公民館
- 講師 大脇千代香先生
- 申し込み 家庭手芸サークル事務局 木島(☎54-3168) まで

消費税導入対策資金融資制度

岐阜県では、消費税導入で新たに生じた納税事務を中小企業者が合理化する場合の設備購入資金を融資します。

- 融資対象者 県内で1年以上継続して事業を営む消費税課税事業者
- 資金使途 設備資金(レジスター等)
- 融資限度額 300万円以内
- 融資利率 原則として年3.9%
- 融資期間 5年以内
- 融資および償還方法 金融機関の定めるところによる
- 申し込み 各金融機関または岐阜県信用保証協会(☎0582-74-0111) へ

張り替え講習会を開催

襖や障子、網戸などを張り替える場合の技術や秘けつを講習会でお教えいたします。申し込みは、お早めに。

- とき 5月12日(金)、午後1時から
- ところ シルバー人材センター下古井作業所(下古井公民館前)
- 参加対象 原則として60歳以上の市内在住の方
- 申込期限 5月10日(木)まで
- 申込先 美濃加茂市シルバー人材センター(☎25-0710) へ

リサイクル自転車展示即売

シルバー人材センターでは、リサイクル自転車の展示即売会を実施いたしますので、ぜひご来場下さい。

- とき 5月25日(木)、午後1時から
- ところ シルバー人材センター
- その他 抽選販売もありうる
- 問い合わせ 美濃加茂市シルバー人材センター(☎25-0710) へ

農業大学開放講座の募集

岐阜県農業大学校では、地域のみなさんに自由に受講していただくこと、大学を開放いたしますのでご参加下さい。

- とき 5月25日(木)一草花の作り方の基礎技術、6月8日(木)一夏野菜栽培の基礎技術、いずれも午前9時から
- ところ 農業大学校農村青年研修館
- 定員 各講座とも50人
- 申し込み 各開校日の10日前までに、県農業大学校総務課(〒509-02、可児市坂戸938、☎62-1226) へ

市民ハイキング大会を開催

美濃加茂市山岳会では、恒例となりました春の市民ハイキング大会を開催いたします。ぜひご参加ください。

- とき 5月14日(日)、午前8時までに前平公園管理棟前へ集合
- ところ 標高1,163mのふくベヶ岳
- 参加人員 30人(ただし、小学校低学年以下は保護者同伴のこと)
- 参加費 大人=500円、小人=200円
- 持ち物 雨具、弁当、水筒
- その他 美濃加茂市山岳会に入会希望者も現在募集中
- 申し込み 美濃加茂市山岳会事務局 竹内(☎26-8744) まで

5月の広報キャンペーン

愛鳥週間

五月十日〜十六日

鳥類が地球に現れてから現在までを一時間とすると、人類は出現してから一秒しかたっていない。鳥類はまた、人間にはない「体内コンパス」や「体内時計」などの能力を持っています。

このような鳥類をそつと観察してみたいかがですか?



家内労働週間

五月二十一日〜三十一日

家内労働従業者は全国でおよそ百二十二万人といわれ、衣服、織物、雑貨などの製造に従事しています。しかし、作業場所は決して恵まれた労働環境にあるとはいえません。安全で衛生的な労働環境をつくるため、安全衛生に関する法令を守りたいものです。

文化会館 ☎25-1108

■休館日 1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

期日	内 容	時 間
7日(日)	'89ミス日本ラインコンテスト	12:00~
10日(水)~14日(日)	美濃加茂市美術連盟展(第1・第2展示室)	9:00~
14日(日)	西川流舞踊三寿代会発表会	11:00~
25日(木)	可茂食品衛生協会総会	13:00~
28日(日)	箏曲演奏会	12:00~

中濃体育館 ☎26-3241

■休館日 3日(水)・10日(水)・21日(日)・24日(水)

期日	内 容	時 間
1日(月)	中北濃地区同盟メーデー	8:30~
3日(水)	市体協大会(開会式・卓球・剣道)	9:00~
7日(日)	可茂地区一般男女卓球大会	8:30~
13日(土)	自動車整備競技大会予選(学科)	12:30~
14日(日)	市体協大会(バドミントン)	8:30~
15日(月)	グラウンド・テニスコート調整会	18:00~
	月ぎめ団体使用申請締め切り	—
20日(土)	都市職員体育大会	12:30~
21日(日)		8:30~
23日(火)	学校開放調整会	19:00~
27日(土)	高校総体卓球中濃予選	12:00~
28日(日)		8:30~

地区だより

地 区	期 日	内 容	場 所	時 間
加茂野	21日(日)	交通安全施設整備	加茂野町一帯	8:00~

休日の水道修理は...

■5月の当番店 休日の水道管の破裂などのトラブルに対応できるよう、市上水道指定組合では当番店を指定し、下記の日程で工事をいたします。

期 日	当 番 店	電 話	住 所
3日(水)	納土ポンプ機	26-2438	市内蜂屋町中蜂屋2705-2
4日(木)	安田ポンプ工業所	26-5610	〃 〃 836
5日(金)	木下設備工業	29-9415	〃 下米田町今308
7日(日)	米田住宅設備	25-5146	〃 〃 西脇546
14日(日)	柳中嶋設備	25-2775	〃 森山町3-12-10
21日(日)	土谷ポンプ工業機	25-2756	〃 〃 1-1-41
28日(日)	セキスイ管工機	26-0253	〃 田島町3-3-43

今月の納期

国民健康保険料2期分
国民年金5月分
5月31日(水)まで

文化会館第45回市民の劇場のお知らせ
7月9日(日)「爆笑 吉本オン・ステージ」

第1回公演 14時~

2回公演 18時~



第1部 新喜劇

出演者 岡寛平、他乃めだか、島田三の介、末知やすえほか



第2部 パラメーション

出演者 オール阪神・巨人、独島ん奴、宮川大助・花子、ザ・パンパトリオほか

前売り券、5月18日より2,500円で発売!!

中央公民館 ☎25-4141

■休館日 4日(木)・7日(日)・21日(日)

期 日	内 容	時 間
2日(火)	青年会議所例会	18:00~
5日(金)	岐阜岳風会美濃加茂支部練成会	9:00~
13日(土)	専門学校進学相談会	9:00~
14日(日)	協働会岐阜支部総会	9:00~
18日(木)	青年海外協力隊募集説明会	18:00~
27日(土)	スポーツ少年団指導者養成講座	18:00~
29日(月)	人権擁護協議会総会	9:00~

図 書 館 ☎25-7316

■休館日 1日(月)・3日(水)・4日(木)・5日(金)・10日(水)・21日(日)・24日(水)・31日(水)

■5月のお話会 「お話ボランティア」が、つぎの日程で幼児のみなさんに楽しい絵本を読んで聞かせます。
6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)、午後2時から

そよかぜ号の巡回日程

地 区	月 日	巡 回 場 所	時 間
加茂野	22日(月)	加茂野小学校	13:00~13:30
		加茂野連絡所	13:40~14:10
		駅前公民館	14:20~14:50
		稲辺公民館	15:00~15:30
		境松雇用促進	15:40~16:10
伊 深	23日(火)	伊深小学校	13:00~13:30
		伊深連絡所	13:30~14:00
		大洞公民館	14:10~14:30
		中切橋	14:40~15:00
		野地原	15:10~15:30
三 和	25日(木)	最乗寺前	13:40~16:00
		三和小学校	13:00~13:30
		三和連絡所	13:30~14:00
		中甘屋公民館	14:10~14:30
		上甘屋公民館	14:40~15:00
下米田	26日(金)	上水無瀬	15:10~15:30
		中川浦公民館	15:40~16:00
		下米田小学校	13:00~13:30
		下米田連絡所	13:40~14:10
		信友公民館	14:20~14:50
		小山公民館	15:00~15:30
		牧野公民館	15:40~16:10